

志賀直哉旧居 奈良学園公開文化講座(2023 年後期)

第 63 回 《看護の職業的自由と自律への歴史物語》

2023 年 10 月 2 日 (月) 14:00~16:00

講師：西園貞子 奈良学園大学 保健医療学部 教授

奈良には医療・看護のゆかりの寺院がたくさんあります。貧しき人、病める人への世話は、常施院や悲田院など、仏教の「慈悲の心」で施しが行われ、西洋においても、キリスト教の「慈善行為」として行われてきました。その後、看護という仕事は、キリスト教、戦争、女性の地位、教育が関連し、非宗教的職業として現在の看護職が誕生しています。看護の職業化を「自律」をキーワードとして辿ってみたいと思います。

第 64 回 《志賀直哉生誕 140 年記念 稲村雑談 一孫が語る志賀直哉像》

2023 年 10 月 30 日 (月) 14:00~16:00

講師：山田 裕

稲村 隆 白樺文学館 主任学芸員

志賀直哉生誕 140 年を記念して志賀直哉の孫である山田裕氏と我孫子市白樺文学館の学芸員稲村隆氏によるトークイベントです。両氏は、志賀直哉について、YouTube で発信するなど精力的に活動中です。山田氏は旧居で生まれた志賀直哉の五女田鶴子さんの長男で、奈良での志賀について、孫の視点からのトークを予定しています。

第 65 回 《笑い与健康》

2023 年 11 月 6 日 (月) 14:00~16:00

講師：井上葉子 奈良学園大学 保健医療学部 専任講師

本講座では、「笑い」がもたらす健康への効果をご紹介しますとともに、笑いを生む健康体操であるラフター（笑い）ヨガを体験していただきます。1995 年にインド医師によって考案されたラフター（笑い）ヨガは、冗談やユーモア、コメディに頼らないで「ただ笑うだけ」で、「笑い」と「ヨガ」の呼吸法を同時に行うことができるものです。子どもの様な無邪気な遊び心を思い出し、心を解放するラフター（笑い）ヨガを体験してみませんか。

第 66 回 《『源氏物語』を読む 一作者・内容・当時の婚姻―》

2023 年 11 月 29 日 (水) 14:00~16:00

講師：鍵本有理 奈良学園大学 人間教育学部 准教授

来年の大河ドラマにも取り上げられる紫式部。実際はどのような人であったのか、その生涯や藤原道長をはじめとする貴族達との関わりについて、『紫式部日記』の記述などを手がかりに読み解いていきます。また、『源氏物語』全体を概観した上で、実際に名場面の本文を読み、主要登場人物の紹介をふまえながら、当時の婚姻制度や貴族の女性の生き方について、どのようなものであったのかを解説することとします。

◆参加費	各回 350 円 入館料込 （奈良学園教職員、在籍者は無料です）
◆定 員	各回 25 名（事前申込先着順）※定員になり次第、申込を締め切ります
◆会 場	志賀直哉旧居（奈良学園セミナーハウス）奈良市高畑町 1237-2
◆申 込	志賀直哉旧居（0742-26-6490）（seminar@naragakuen.jp）にお申し込みください
◆主 催	学校法人奈良学園志賀直哉旧居（奈良学園セミナーハウス）



志賀直哉旧居 HP

2023 年度志賀直哉旧居講座

志賀直哉「ナイルの水の一滴」、「魅惑の演劇、演劇の魅惑」、泉鏡花『露宿』、「奈良に受け継がれる仮面と芸能」、夏目漱石『夢十夜』、「明治・大正期と奈良の美術」、講座のタイトルの一端をここに挙げてみました。2008 年 10 月 4 日「志賀直哉旧居保存運動 30 周年メモリアル」から 15 年を迎えます。その節目を飾るにふさわしい講座となりました。ご来場をお待ちしています。

6 月 19 日（月）14:00～15:30

「志賀直哉「ナイルの水の一滴」—西洋的なもの、日本的なもの—

相愛大学名誉教授 呉谷充利氏

志賀直哉はみずからを文学に表現して、最晩年に「ナイルの水の一滴」としての自身を語っています。ナイルの水の一滴に比喻される生の意味は、鈴木大拙の思想にその拠り所を見ることができるのですが、大拙と直哉の見方には、一つの違いがあります。前者の宗教性にたいして、志賀直哉は、いわば文学的なリアリズムを以てただ一つの繰り返すことのできない生をそこに見えています。こうしたことをさらに西洋的な見方にたいする東亜・日本的な見方において考えてみたいと思います。

7 月 17 日（月）14:00～15:30

「魅惑の演劇、演劇の魅惑」 劇作家・関西学院大学教授 東浦弘樹氏

演劇＝芝居にはどのような魅力があるのだろうか。

Amazon Prime や Netflix で映画が自宅で見られるようになった現在、わざわざ劇場まで行って芝居を見る意義はなんだろうか。本講座ではフランス文学者であり劇作家・役者でもある東浦が、ピーター・シェーファーの『エクウス』、ブロードウェイミュージカル『ピピン』、音楽座の『シャボン玉飛んだ、宇宙まで飛んだ』、つかこうへいの『広島に原爆を落とす日』など、これまでに自分が見た芝居や自分が執筆し出演した芝居を紹介しながら、演劇の魅力や意義についてお話しします。

8 月 21 日（月） 14:00～15:30

「夏目漱石『夢十夜』を読む」 奈良女子大学文学部准教授 吉川仁子氏

志賀直哉は、夢を素材とした作品を多く書いていますが、志賀の尊敬する夏目漱石も『夢十夜』を書きました。『夢十夜』は「第一夜」から「第十夜」までの短い作品で構成されており、そのうちのいくつかは「こんな夢を見た」という書き出しで始まります。十夜のうちには、美しい夢もあれば、悪夢のようなものもあります。「第一夜」は、「百年待つてみて下さい」と言い残して死んだ女と、その言葉通りに待ち続ける男の話です。〈ロマンチック〉という言葉で語られることの多い「第一夜」ですが、この「夜」からどのようなことが読み取れるか考えます。「第一夜」を中心にしつつ、ほかの「夜」についても触れたいと思います。

9 月 18 日（月）14:00～15:30

「泉鏡花『露宿』とその周辺」 帝塚山大学教授 西尾元伸氏

『露宿』（大正 12）は、関東大震災で被災した泉鏡花が、避難のために野宿を強いられた際の体験を記した随筆作品です。2023（令和 5）年は、泉鏡花生誕 150 年を記念する一年であると同時に、関東大震災から 100 年という年でもあります。関東大震災という厄災のなかで、鏡花は何を見て何を書き残したのか。今回の講座では、他の作家が残した文章なども参照しながら考えます。そして、関東大震災が、鏡花の創作においてどのような位置を占めるのかについても考えてみたいと思います。

10 月 16 日（月）14:00～15:30

「奈良に受け継がれる仮面と芸能」 奈良県立美術館 三浦敬任氏

奈良県立美術館では 2023 年 9 月 30 日～11 月 12 日に「仮面芸能の系譜—仮面芸能のふるさと奈良—」展の開催を予定しています。わが国は、先史時代から連綿と続く仮面芸能が生きづく希有な文化を持っています。縄文時代の土面に始まり、奈良時代に百済から伝わった伎楽や、大陸から伝来し平安時代に集大成された雅楽・舞楽。また曲芸的な散楽、水田耕作と密着した田楽。その淵源が謎に包まれた予祝舞・翁舞や、中世に大和国において猿楽から発展した能狂言へとつながります。本講座では、仮面芸能の系譜を「奈良」に残る仮面・芸能の紹介を通じて解説いたします。

11 月 20 日（月）14:00～15:30

「明治・大正期と奈良の美術」 美術史家・愛知県美術館 平瀬礼太氏

これまで、昭和期の奈良の美術について及び戦争と美術とのつながりについて、数回にわたり解説してきました。今回は、明治、大正期における奈良の美術について触れたいと思います。

2023年度白樺サロンの会（全6回）
志賀直哉旧居特別講座

新たな高畑文化、15 年を迎えて

古都奈良の地は千年の風雪を越えてなおその美を歌う。
この廃都の地を、名画の残欠が美しいようにうつく、と志賀直哉は言い、
旧居における自身の思索を「手帖から」に記している。
地に、古代の白眉が優に千年を越えて伝わり、近代に脱俗の場所として
画家や作家が住み着いた。
伝わる美の世界は歴史を超える普遍的な人間の意味を、静謐なその地は、
深い思索をわれわれに与える。（白樺サロンHP から）

6 月 19 日（月）14：00～15：30
「志賀直哉「ナイルの水の一滴」
—西洋的なもの、日本的なもの—」
相愛大学名誉教授 呉谷充利氏

9 月 18 日（月）14：00～15：30
「泉鏡花『露宿』とその周辺」
帝塚山大学教授 西尾元伸氏

7 月 17 日（月）14：00～15：30
「魅惑の演劇、演劇の魅惑」
劇作家・関西学院大学教授 東浦弘樹氏

10 月 16 日（月）14：00～15：30
「奈良に受け継がれる仮面と芸能」
奈良県立美術館 三浦敬任氏

8 月 21 日（月）14：00～15：30
「夏目漱石『夢十夜』を読む」
奈良女子大学文学部准教授 吉川仁子氏

11 月 20 日（月）14：00～15：30
「明治・大正期と奈良の美術」
美術史家・愛知県美術館 平瀬礼太氏

【申込先】

- ◆参加費 各回 350 円 入館料込（奈良学園教職員、在籍者は無料です。）
- ◆定員 各回 20 名（事前申込先着順）※定員になり次第、申込を締め切ります。
- ◆会場 志賀直哉旧居（奈良学園セミナーハウス）奈良市高畑町 1237-2
- ◆申込 志賀直哉旧居（0742-26-6490）(seminar@naragakuen.jp) にお申し込みください。
- ◆主催 学校法人奈良学園志賀直哉旧居（奈良学園セミナーハウス）、白樺サロンの会